

ノロウイルスによる感染性胃腸炎拡大の防止について

保護者の皆様におかれましては、日頃よりこども園ほんべつの運営にあたりご理解、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、こども園ほんべつに通園する数名のお子様に下痢、おう吐等の症状がみられ、うち一部のお子様が、12月14日にノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎と診断されました。

感染症等につきましては、これまでも各ご家庭において十分な予防対策をお願いしているところではありますが、今後の感染拡大を最小限に抑えるために、改めて以下についてご確認ください。ご理解ご協力をお願いします。

【参考までにお知らせします】

1. どのような症状か？

- ① 潜伏期間は通常24～48時間程度とされています。
- ② 主な症状は頻回の下痢、激しいおう吐、発熱などです。急に発症することがあります。
- ③ 乳幼児やお年寄りには症状が重くなったり、長引いたりすることがあります。

2. どうやって感染するの？

- ①患者の便や吐しゃ物を処理した後、たとえ十分に手洗いをして手や爪に多くのウイルスが残っていることがあります。
- ②感染経路は、ほとんどが手指などを介して経口または経鼻で感染します。

3. 予防方法は？

- ①手洗い 指輪や時計をはずし、流水と石鹸による手洗いをしっかり行いましょう。
- ②おむつ交換 使い捨てのゴム手袋などを使い、捨てる場合はポリ袋などに入れましょう。
- ③消毒 便やおう吐物で汚れた場所・物はきちんと消毒しましょう。衣類の消毒は、家庭用塩素系漂白剤でつけおきした後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。床や壁などは次亜塩素酸水も有効です。ドラックストアなどで購入できます。(ノロウイルスはアルコールや煮沸で殺菌することはできません。)

4. 発症した場合の治療法は？

- ①脱水を防ぐための水分補給や、体力を消耗しないよう栄養を補給することなどが治療の中心となります。
- ②大抵は、発症から2～3日で症状が治まります。
- ③下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。

5. お子様や同居の家族に下痢、おう吐等の症状があらわれた時は？

- ①お子様の場合は、症状が回復するまで登園は控え、様子を見てください。
なお、欠席することと合わせ、症状についてこども園まで連絡をお願いします。
- ②ご家族の中で下痢・嘔吐などの症状がみられた時も、必ず保育教諭までお知らせください。
- ③脱水症状がひどい場合には医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。
- ④症状が回復して、丸1日下痢、おう吐の症状が見られなければ登園しても大丈夫です。

☆お知らせ

本日欠席されているお子様もおりますので、このおたよりと同じ文書を CCS 連絡メールで一斉送信しております。登録されているのに受信できないなどありましたら、こども園までお知らせください。